

# 会 議 記 録

会 議 名	第 2 5 回 三木市地域公共交通会議
日 時	令和元年 8 月 2 3 日 (金) 午前 1 0 時～午前 1 1 時 1 5 分
場 所	三木市中央公民館 2 階 第 1 ・第 2 研修室
出 席 委 員	(市民の代表) 6 名 (事業者) 神姫バス株式会社、神姫ゾーンバス株式会社 (関係機関) 神姫バス労働組合、国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部、兵庫県三木警察署、兵庫県北播磨県民局加東土木事務所、兵庫県北播磨県民局加東土木事務所道路第 2 課、三木市都市整備部道路河川課、三木市(オブザーバー) 兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課 計 1 6 名
事 務 局	三木市都市整備部交通政策課 ( 4 名)
内 容	<p><b>1 開 会</b></p> <p><b>2 会長挨拶</b> 事務局から資料の確認。</p> <p><b>3 委員紹介</b> 事務局から新たに委員になられた 1 名を紹介。</p> <p><b>4 議事事項</b> 以後の進行は、会長に一任。</p> <p>【議事 1】 吉川第 1 ～第 4 ルート(よかたんバス)及び自由が丘本町・別所ルート(1 0 2 番系統)における協議運賃の改定案について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料 1</span> 事務局から、資料に基づき内容説明。</p> <p>【質疑】 (委員) 緑が丘・青山地域内のバスについての運賃改定であるが、改定の路線として吉川第 1 ～第 4 ルート(よかたんバス)と自由が丘本町・別所ルート(1 0 2 番系統)だけで、青山・緑が丘循環バスについては現行 1 5 0 円(小人 8 0 円)のままでよいのか。</p>

(事務局)

協議運賃となっているのが吉川第1～第4ルート（よかたんバス）及び自由が丘本町・別所ルート（102番系統）のみであり、青山・緑が丘循環ルートについても、神姫ゾーンバスが設定している地域内運賃設定区間に入っている。このたびの国への申請に伴い、自動的に160円の取扱いとなる。

(委員)

改定の路線として吉川第1～第4ルート（よかたんバス）及び自由が丘本町・別所ルート（102番系統）とだけ書いてあったので、分かりにくい。

青山・緑が丘循環ルートについても、変わるということで理解する。

(会長)

周知について、この2路線以外もしっかりとPRしていく。

吉川第1～第4ルート（よかたんバス）及び自由が丘本町・別所ルート（102番系統）における協議運賃の提案について、本会議で調ったこととして取扱う。

#### 【議事2】

##### 市補助路線バスの一部ルートの変更案について

ア 別所第1ルート(61番系統) 資料2

イ 平井ぶどう園前・恵比須駅ルート(56番系統) 資料3

ウ 青山・緑が丘循環ルート(51・52番系統) 資料4

事務局から、資料に基づき内容説明。

#### 【質疑】

(オブザーバー)

資料2、別所第1ルートの一部変更について、利用の極めて少ない「石野」「下石野」の現状の利用状況を数字で教えていただきたい。

(事務局)

別所第1ルートの「石野」「下石野」の利用者数について、今年の4月～6月の利用者は「石野」が0人、「下石野」については5月と6月にそれぞれ1人ずつ、3か月で合計2人の利用となっている。

(オブザーバー)

「緑が丘中2丁目」「青山6丁目」の利用者数も同じような状況か。

(事務局)

「緑が丘中2丁目」「青山6丁目」については、神姫ゾーンバスからは、利用者がほぼ0人と聞いている。

(バス事業者)

期間は同じく4月～6月で、「緑が丘中2丁目」、ここでの乗降者数が2人、それから「青山6丁目」、ここが0人となっている。

(会長)

資料3、平井ぶどう園前・恵比須駅ルートの一部変更案について、何か意見等はあるか。

(委員)

1年間の検証期間ということで地域の皆さんに利用していただくよう周知している。

何とか路線延長していただき、恵比須駅前へ買い物に行くのにちょうどよいので、よろしくお願ひしたい。

(会長)

利用のPRを皆さんにしていきたい。

資料4、青山・緑が丘循環ルート(51・52番系統)の一部ルートの変更案について何か意見等はないか。

(委員)

今回初めて減便を知った。利用実態に即した運行ということであるが、利用実態に即したというのがどういうことか分かりにくい。

5便から4便に減ったということで、これからまちを活性化する、このバスを利用して人を往来させるという狙いからすると、5便から4便というのは残念だと思う。

更に150円から160円に値上げということも考えるとネガティブなように思う。利用実態に即したという点を説明いただきたい。

(事務局)

この循環ルートについては、昼間の時間帯の利用がほぼ0人に近いということから、5便を4便にし、昼間の中を1本集約するといった形にしたいと考えている。

4往復で循環ルートを使ってみて利用実態をみていきたい。

(委員)

地域からすると人の集まる場所に人を積極的に往来させるということが狙い。5便への対応はやろうと思えばできるのか。

(事務局)

一部の便については他のバスと運用を一緒にしているところもあり、難しいところである。ダイヤ改正が4月や10月などにあるので、半期ごとに改正するのは可能と考える。

(会長)

可能であるか、一度事務局で検討する。

(委員)

需要が上がれば半期ごとの見直しが可能と理解してよいか。

(バス事業者)

1 便当たりの時間が約 8 ～ 9 分延びている。決められた時間の中で、乗務員の問題もあり、それを優先してダイヤを組むと、1 日 4 便が限界。これを増やすのであれば全体的なダイヤの見直しも含めないと、乗務員に負担がかかる。

人員不足で苦勞しているため、理解いただきたい。

【議決】

(会長)

市補助路線バスの一部ルート変更案について、本会議で協議が調ったとしてよいか。

(各委員)

異議なし。

## 5 報告事項

### (1) その他の市補助路線バスの変更案及び朝日ヶ丘ルート of 正月運行について

ア 別所第 2 ルート(6 2 番系統) 資料 5

イ 三木別所観光ルート(7 6 ・ 7 7 番系統) 資料 6

ウ 吉川第 1 ～ 第 4 ルート(よかたんバス) 資料 7

エ 吉川・口吉川ルート(1 0 9 番系統) / 口吉川・高畑ルート(1 1 0 番系統)  
資料 8

オ 三木鉄道代替バス(3 0 ・ 3 1 番系統) 資料 9

### (2) 朝日ヶ丘ルート(6 3 番系統) of 正月運行について 資料 1 0

事務局から、資料に基づき内容説明。

(会長)

事務局へのお願いとして、今後の資料には利用の少ないところの説明に、実態が分かるような数字を入れるよう希望する。

さきほど質問のあったように、別所第 2 ルート、三木別所観光ルートについても詳しい数字を事務局から説明をお願いします。

(事務局)

別所第 2 ルートの最終便、三木営業所 1 7 時 1 8 分発について三木郵便局を過ぎ、小林交差点から相野までの 4 月～ 6 月の利用者数は、4 月が 0 人、5 月が 1 人、6 月が 0 人となっ

ている。

別所観光ルート of 最終便、恵比須駅 17時45分発、4月は運行日数が8日あり、8日間で10人、5月は8日間で10人、6月は10日間の運行で6人の利用があった。

清水のバス停利用者は、4月が8日間で2人、5月が8日間で1人、6月が10日間で3人となっている。

**【質疑】**

(会長)

別所第2ルート（62番系統）について、質問等はあるか。

(各委員)

質問なし。

(会長)

三木別所観光ルート（76・77番系統）について、質問等はあるか。

(委員)

三木別所観光ルートの4月～6月以外の利用実態も把握しているのか。

(事務局)

今回の会議では直近の3か月で報告したが、利用者数については年中、事業者から報告をいただき、年中傾向を取っている。3か月間の動向だけで判断したのではなく、これまでの運行の実績をみた上で、一部非効率な部分の改正を行うということで、理解いただきたい。

(委員)

別所地区区長協議会で話のあった、公民館のふれあいバスと102系統の乗継ぎについて検討するということであるが、それはいつぐらいか。

(事務局)

別所地区の区長協議会で提案させていただいた件については、路線バスを頻繁に変えるということが難しいため、近いうちにふれあいバスの運行主体のかたと具体的な協議を行う。

今後、バスの改正の時期を、来年の10月に計画している。大きく見直せるのはその時期と考えている。一方で地域ふれあいバスは柔軟な対応ができるというメリットもある。地域ふれあいバスのほうを路線バスに合わせていただくことも提案させていただきたい。

(会長)

吉川第1～第4ルート（よかたんバス）について、質問等はあるか。

(委員)

吉川第1～第4ルート of 減便はつらいところもあるが、現状を考えるとしかたないと思う。  
人口が増える見込みはないが、バスを小さくしてでも減便しないでほしい。

(会長)

吉川については、今後、デマンド型交通の導入も検討していく。そこで地域の意見を聞いていく。

(会長)

吉川・口吉川ルート（109番系統）／口吉川・高畑ルート（110番系統）について、質問等はあるか。

(委員)

過密のところ上手に運行してもらっているが、吉川・口吉川ルートで、口吉川町は店がないところで、食料品店が3～4年前になくなり、ローソンも6月に閉店して食料品を買うところが1軒もない。マックスバリュの天神まで10キロ、加佐まで10キロと住みにくいまちとなっている。

この上、交通の便も悪くなると、更に住みにくいまちになる。減便になってもなくならないように工夫してほしい。

(会長)

三木鉄道代替バス（30・31番系統）について、質問等はあるか。

(各委員)

質問なし。

(会長)

朝日ヶ丘ルート（63番系統）の正月運行について、質問等はあるか。

(委員)

朝日ヶ丘地区に正月3が日バスを走らせるということであるが、休日にどれくらい乗っているのか。

人手が足りない中で、3日間走るとなると乗務員が数名出勤しなければならない懸念がある。

社会実験とあるが、どれくらい乗降があれば翌年も継続するのか、取りやめにするのかという境界線はあるのか。

(事務局)

朝日ヶ丘ルートの土日の利用者数は、交通事業者が6月8日、9日の2日間取っている。朝日ヶ丘から三木営業所に行く便は2日間で46人、三木営業所から朝日ヶ丘へ帰る便は2日間で40人の利用があった。

(事務局)

社会実験の利用状況の判断は、バスの見直し方針をつくった時に評価指標を設けている。

それを参考に、1日当たりのバス利用者数が10人以下であれば見直す、1便当たりの利用者数が1人以下であればタクシーで対応可能であるため、これに基づき判断していく。

(事務局)

乗務員の勤務形態について、バス運転者不足については十分認識しているが、バス利用が多い地域であることや地形的なこと、朝日ヶ丘は交通手段がないということもあり、まずは社会実験をしてみるということで御理解いただきたい。

(オブザーバー)

今回の報告事項では減便が目立つ。実証を踏まえた上で減便がやはりしんどいという地域の声が出てきたら、真摯に対応していただきたい。

(事務局)

冒頭にも申し上げたとおり、このたびの見直しは、一部非効率なところを減便し、利用の効率を上げて、将来バスを残していく一つの方法として捉えている。地域への呼びかけも引き続き行う。

(会長)

三木市で免許を返納するかたも増えている、その中で公共交通は非常に大事になってくる。我々もしっかり意識し、そのためには地域のかたにも協力していただくということも併せて考えていく。

## 6 その他

### モビリティ・マネジメントの取組について 資料11

事務局から、資料に基づき報告。

【質疑】

質問なし

(会長)

全体を通して質問等はあるか。

(委員)

青山地域で、これから利用を上げていこうとするところで、地域バスを知らないかたも多い。51番、52番と番号を言っても何色のバスでどこを回っているのかと聞かれる。

各バス停に、もう少し分かりやすい案内ができないか。青山・緑が丘地区の地域内バスだけでも分かりやすくしていただきたい。分かりやすくすることによって利用者を増やし、地

域も啓発運動をしやすくなるのではないか。その点、検討していただきたい。

(事務局)

10月から変更となって開始するが、停留所等をはじめ、青山・緑が丘のかたが乗りやすいような環境をつくっていく。

今後、総合時刻表も作成し、各世帯に配るので、その中でもPRしていく。

**8 閉 会**

以 上